



螢雪

第86回 (85・86合併号)

— 華陽フロンティア高等学校同窓会新聞 —



平成29年7月3日

発行
岐阜市西鶉6の69
華陽フロンティア高等学校同窓会
電話058(275)-7185

発行責任者
廣瀬 富久夫
印刷
サンメッセ株式会社



平成27年度 華陽フロンティア高等学校同窓会総会 平成27年8月2日 於 岐阜会館

母校に報恩感謝

同窓会会長 廣瀬 富久夫



同窓会の皆様方にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は母校及び同窓会の為にご支援いただき誠に有難うございます。

さてアメリカでは、トランプ政権のもと「アメリカファースト」(アメリカ第一主義)を表明して今まで以上に自己中心的な方向へ向かっています。一方欧州ではイスラム主義のテロが次々と起こる中、移民排斥の機運も高まりイギリスのEU離脱が周辺各国への広がりを見せています。アジアでは北朝鮮の軍事挑発に目が離せません。

私が同窓会会長をお引き受けして初めて同窓会総会を迎えることとなりました。日頃私を支えて下さる方々に感謝して、今後ともご指導を宜しくお願い致します。

私が同窓会の役員をやらせて頂く事になったのは、卒業して二十年経った頃、恩師より「母校の恩を忘れてはいけない」と言われた事を思い出した頃でした。母校に恩返しをしたい、しなければならぬと強く思っていた時に当番幹事でも無いのに幹事の話があり、素直に受けた思い出があります。同窓会副会長を務めさせて頂いたお陰で、華陽の歴史・草創期の先輩方のどんな環境の中でも負けない心を知ることが出来ました。

昭和六年三月、夜間中学が創設された事は、働きつつ学業を志す人々にとって記念すべき年となりました。それも全国最初の県立夜間中学でありました。今年創立八十六周年、定通教育の県の中核として

の役目は益々大きいと思います。

現在の母校は、私が卒業した昭和五十年頃の勤労学生とは違い、様々な家庭環境・生活環境の困難を乗り越えて入学されています。当時の私と比べて見ても、数段人間のにも上だと思えます。それは毎年の卒業式に出席するたびに思えます。入学前小学校・中学校と様々な理由で登校出来なかつた生徒が、卒業時には見違える程に自分に自信を持ち、成長しているではありませんか。通信制課程においても単なる郵便の往復ではなく、レポート用紙に毎回書かれて来るコメントに生徒が感動する。そこに恩師と信を通わせる本當の通信教育を見た思いがしました。

松下幸之助氏の人生問答の中には、やっぱり若い時の苦労は買ってでもせなあきまへんなあとあります。今の時代は、皆苦労から逃げようとしている。苦労する事を時代遅れの様に思っている。また、苦労する事が損の様に勘違いしている。苦労は全部、自分のためである。こういう時代だからこそ自分から求めて、苦労しようと思わなければ得をする。何物にも「負けない」自分へと鍛錬し抜いた人が勝つ、私もその思いをやつて来ました。今年入学の定時制・通信制の皆さん、最後まで負けないでください。

来る八月六日(日)は、年に一度の同窓会総会を開催致します。当番幹事の方、特に卒業後四十年・二十年の方々には大勢集ってほしい盛り上げて頂きたいと思えます。今回より長年お世話に成りました岐阜会館からホテルグランヴェール岐山に移る事に成りました。どうぞ宜しくお願ひします。

最後に、皆様の益々のご繁栄とご健勝を祈念致します。有難う御座います。

伝統から進化そして真価へ

校長 山田 英貴



昨年度より、定時制・通信制課程を並置し、卒業生の方々と併せて一万四千余名の同窓会員を持つ歴史と伝統ある本校を引継ぐことになりました。

同窓会の皆様からは、常に、物心両面に渡り、ご支援やご助言を受けておりますことを深く感謝申し上げますとともに、皆様のご活躍こそが本校生徒にとっての励み、誇りとなり、支えとなつております。ありがとうございます。

私は、華陽フロンティア高校への赴任は二度目となります。平成十年度の華陽高校最後の年から平成十二年の華陽フロンティア高等学校の開校を経て、平成十四年度までの四年間お世話になりました。

さて、生徒は、勤労青少年、不登校経験者、転退学した生徒、発達障がいなど特別な支援を必要とする生徒など、ますます多様になっています。半期単位認定による着実な単位修得、少人数によるきめ細かな教育による学び直しの機会の提供、生徒の実態に合った学校設定科目の開設、教育相談体制の充実などにより、困難を抱える一人一人に丁寧な対応を行うことによつてこの学校に来てよかった。」と思える生徒を一人でも多く育てる決意をしています。

そして、様々な困難を克服され人生を切り拓いてこられた卒業生の皆さんの姿、生き方、考え方を学び「不屈の精神・師弟同行・母校愛」の校訓を脈々と受け継ぎ、強い意志をもって困難に立ち向かい、自らの希望や夢の実現に向けて、人生を切り拓いていくという「フロンティア」の精神を校名に持つ本校で、自立し、社会に貢献できる逞しい生徒を育て、新たな歴史と伝統を築き、本校の真価を遺憾なく発揮できるよう全職員で努力してまいりますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

伝統を守る同窓会の使命 九拾周年創立大会に向けて 力強く前進!

同窓会名誉会長 澤田 榮作



戦後七拾参年、いつの間にか迎えています。母校の歴史も、多くの皆様のおかげさまで後四年で、早九拾年を迎えようとしています。現会長のもとで九拾周年を

実行して頂く訳です。先人の御努力には、どれだけ感謝しても足りません。樽谷前会長時代に、立派に八拾周年感謝大会を実行して頂きました。私も一緒にお手伝いをさせて頂きました。私にもよくやって頂き、今も感謝の心で一杯です。定通教育の学校では、日本二の二階建ての体育館をという思いから当時の知事の御理解と、当時の校長先生の熱意、そして同窓会も全力を挙げて協力させて頂いたのが、今の立派な体育館であります。これは母校の誇りであり、同窓会の永年の熱意のおかげさまで感謝している所です。岐高に御世話になっている時より、早式拾年近くなり、本当に早いものです。その時、岐高より独立の際には、「永久の姉妹校が母校である」という事を、よく皆様知って頂きたいと思えます。新しくなつて華陽フロンティアの歴史には本当に色々ありましたが、歴代の校長先生を始め、特に郷校長、小山校長時に、同窓会、PTAが一体になつて、いつの時も一生懸命母校愛をもつて頑張った姿が、今日であると思えます。同窓会も定時制、通信制、華南高校と二つの同窓会がありました。二つにして、私と樽谷会長時代に、学校の御理解を頂き、三者がよく話し合い、一致団結の中で七拾周年、八拾周年の感謝記念大会が立派に出来たと、すべての人に感謝しつつ報告と御礼の意味にて書かせて頂きました。私は昭和三十年代より、母校の独立運動を始め、時の會長さんと共に努力し、今残っている方は本当に少なくなつてきましたので、ここに御礼感謝申し上げます。多くの関係者の皆様、母校の益々の発展とすべての皆様の御健勝、益々の御幸せを願ひまして、挨拶とさせて頂きます。

感謝

記念寄稿

「夜学」から第三中学校へ、そして華陽フロンティア高等学校まで

元華陽高等学校校長 横山 稔(昭和24年度卒)



県庁で働く「給仕」のために「夜学」が設けられたのが、華陽高校のはじまりという。給仕というのは、職員の指示に従つて雑用をする少年である。

岐阜中学(現岐阜高校)に併設されていて、主事さんがおられた。現在の副校長である。給仕のためというのは設立当初のことで、やがて「勉学」の意思はあるが、経済的理由で昼間の学校に進めない人ひとりが集まってきた。これらのなかには、更に上級の学校に進学する人もあった。第二次大戦後には「第三中学」と呼ばれるようになった。ただ四年間通う必要があった。当時は、一学年一クラスで、一学年が四十人から五十人ほどであった。そのうちから数人が進学していたから、進学校といつてもよく、一中、二中に続いて三中という名を頂いていたのである。

校長先生は岐阜高校の校長さんの兼務で、校舎も岐阜高校の校舎の一部の間借りであった。私が入学したのは、このような時であった。当時、関谷美智男先生と熊田熊三郎先生がおられた。お二人とも本校の卒業生で、現在の名古屋工業大学を卒業後は、母校の教壇に立つておられたのである。

関谷先生は、その後県教育委員会に入られ、最後は県博物館長になつておられる。

熊田先生も、最後は県教育センター長になつておられる。お二人には、卒業後も御指導を戴いたが、今は亡くなられている。

今お一人、私にとっては親以上のお方がおられる。小野木利尚先生である。東京教育大現筑波大に合格したのはよいが、学資の目的が、全くなかった。この際にご尽力頂いたのが小野木先生であった。先生にはその後も、亡くなられるまでご指導を頂くことになった。

恩師の他、当時の仲間内を振り返つてみる。小川幸夫氏がある。氏は市会議員として活躍されたから、ご存知のことと思つた。

津川昇氏は、岐阜高等農林(現岐阜大学農学部)を卒業後、県警の鑑識に入り、科学捜査の分野で医学博

士になられたが、数年前に亡くなられている。生徒時代には最も親しくした友人であった。

澤田英治、榮作のご兄弟がある。英治氏とは同級で、榮作氏は二三年下級生であった。

お二人は協力しあつて、ガソリンスタンド「マルエー」を築きあげられたのである。われわれが感謝をしたいのは、大きな企業主になつても、華陽高校を見捨てることなく、華陽高校の卒業生であることを誇りにして、榮作氏は華陽高校同窓会のシンボルの存在であることは、皆さんご承知のとおりである。

戦後も落ちて着いて、岐阜高校の校舎が建て替えられるにもなつて、華陽高校も独立の校舎が建てられている。といつても、岐阜高校の敷地の一部を借用しての話である。この頃、岐阜高校にあった通信制課程が、華陽高校に移されている。毎日学校に通ふことの出来ない人たちの課程で、悪条件のもとで学ぼうとする意欲に燃えた人たちであった。また、昼間二部制という課程もあった。

当時は紡績工場があつて、中学を卒業した少女たちが多く働いていた。勤務時間を午前と午後とに分けて、勤務のあいまの時間に定時制に通うという制度であつた。はじめは、華南高校としてあつたが、企業が高校生業者を採用するようになって、縮小されて、華陽高校に移管されたのである。しかし、まもなく廃止になつている。夜間定時制に通う生徒の多くは、当時盛んであつた縫製業で働いていた。その縫製業も活気を失つてくる。生徒にも変化があらわれてきた。全日制を中退した生徒が編入しはじめたのである。これを受けて、昼間定時制が設けられた。現在の場所に独立校舎を持ち、名称も「華陽フロンティア高等学校」になつている。

この間、私は大垣東高校の教諭から、大垣商業高校定時制の教頭になり、以後華陽高校の教頭を経て岐阜商業高校定時制の副校長、最後は母校である華陽高校の校長になつたのである。

教職を去つて三十年ちかく経ち、今年の六月に八十八歳をむかえて、国から瑞玉小授章」を頂きました。

これも華陽高校をはじめ、定時制諸校あつてのことと思ひます。

蛭雪第八十六号の発行に寄せて

大野 芳男(昭和27年度卒)



岐阜県立華陽フロンティア高等学校同窓会新聞「蛭雪第八十六号」の寄稿に当たつて、小生がわが校と生き抜いてきた昭和の御代から現在に至る激変時代、その

時代の変遷の事実、および、我が校が木造の旧忠節橋のふもとの縄場で定時制高等学校としてスタートした、岐阜第三高等学校から華陽高等学校、現在諸君が教育の園としての学び舎で受けた先輩教育者、教諭に今は頭が下がる思いでいふべきです。小生、大野芳男は現在八十三歳で現役英語の通訳としてロンドン、ロスアンゼルス、ニューヨーク、中国の国際都市上海、フィリピン、ヴェトナムと出張をし、日本の産業人たちのお役に立ててもらつています。

大日本帝国、軍国主義の破滅

思い返せば、第二次世界大戦(大東亜戦争)の発端は小生の尋常小学校の二年生、現在での八歳の冬、昭和十六年十二月八日、大日本帝国陸海軍のハワイ、オアフ島、真珠湾の奇襲攻撃から始まり、世界を太平洋戦争に巻き込みました。昭和十七年には徴兵制が引かれ、赤紙を受けた兵士が続々と戦地に赴き、昭和十八年には、戦時色二辺倒。国民学校での兵士養成の軍国教育は小学三年生から始まり、北方千島列島のアツ島玉砕から始まつた負け戦はその後、南方太平洋での玉砕によりアメリカに占領され、昭和十九年三月にはサイパン、テニアン島から三百から四百機の大編隊で飛来する米軍戦略空軍のB29は東京をはじめ日本全国三百都市以上が焼夷弾、爆弾等空爆され、昭和十九年夏ごろには日本近海、遠州灘沖にまで接近したアメリカの航空母艦からグラマン・F6Fなどの艦載機が名古屋、各務原、岐阜にも飛来し、小生も白山国民学校校庭で二十ミリの機銃で狙撃された経験を持っています。上空二十メートルの機上狙撃、反転上昇の時に振り向き眺めたアメリカ人パイロットの顔は今でも覚えています。昭和二十年七月九日には岐阜も

百三十機以上のB29による焼夷爆弾攻撃を受け、自宅近く、鶴田町にあった川西機械工業岐阜工場を始め、市内三分の二が消失、当時の丸物百貨店、岐阜劇場、市役所等がビルの外郭だけを残り焼け落ちました。五年生には日本はすでに負け戦に入り、国を挙げて少年兵の募集が始まり、海洋少年団、航空少年隊等に軍事教練が本格化し、将来の神風特別攻撃隊の予備軍を小学五年、六年生に鼓舞、将来の神兵の養成に国を挙げて掲げていました。都市による差別があり、大都市と言われていた東京や大阪の子供たちはアメリカ空軍の空襲から逃れるため、集団で長野県やその他軍需産業地域以外に疎開をさせましたが、岐阜など戦意向上都市では小学五年生、六年生には、敵機来襲に備えての監視教育、機影判定、米国空軍戦略爆撃機、艦載機の機種グラマン戦闘機やP51ムスタング等の識別判断力の養成やその伝達手法、モリス信号の解説、手旗信号の訓練、戦闘機乗り用の反転位置感覚訓練、長良川河川敷でのグライダーの初歩訓練、六年生になり、戦争状態も敗色が濃くなった日本では、最後の特攻と言われた人間雷雷回転の操縦及び敵目標攻撃をするための三角関数等の教育を受けました。先輩で当時の国民学校高等科二年で富士の陸軍戦車学校を卒業し十六歳で陸軍伍長に昇進、母校の白山国民学校で教頭先生の次に我々に戦意向上の訓示をしたこと等、今でもはつきり脳裏に焼き付いています。小生が今ここで書き下ろした過去の事実は今現在の在学生諸君や母校卒業の若き諸君達にはあつてはならないことです。日本国が時のリーダーによる誤った政治指導により国民は翻弄された悪夢の時代は一九四五年(昭和二十年)八月十五日昭和天皇の勅諭で終り、日本の無条件降伏により始まった米国の占領政策その政治指導で日本の方向性も変わり、時代は二変し一九五〇年(昭和二十五年)には復興機運が盛んになり日本経済も産業復興により、好景気呼び込む気運に満ちてきていました。

我が人生初に遭遇した民主主義と華陽高校の忘れ得ない教諭たち

当時、マッカーサーの占領政策で学校制度が改革され6・3・3制に変わり、旧制中学、岐阜三里工業学校から岐阜市立北高等学校(現在岐阜県立北高等学校)二年生に編入され、昼間高校の生活を楽しんでいました

が大野家は戦時中祖先が残した刀剣、金物一切を軍部の徴用により国に抛出、金目のものは一切なく、祖母の厳格な家庭教育により、父親、母親にも闇などの行為は一切ご法度、させなく敗戦による貧困で三度の食事もままならず、祖母は我々三名の子供たちのために自分の食事を減らし昭和二十二年八月に栄養失調でなくなりました。父親は戦後解体された川崎航空機の川崎工場に勤めていましたが給料も少なく、両親、二人の妹たちが十分衣食することが出来ず、夜間高校に転校することを決心し、華陽高等学校にお世話になりました。それも敗戦が生んだ小生の人生転換期になりました。それは各務原、米軍基地内のアメリカン・スクール見学、NHKで平川唯一先生の英語会話ラジオ放送これが少年時代の気持ちを活気付けました。また、このアメリカン・スクールの見学が少年期の我が人生の大転換期になったのです。我々、岐阜北高校の高校生二十五名が米軍差し向きのバスに載せてもらい、アメリカン・スクール見学をした時でした。人生で初めて紅茶とビスケットのおもてなしを米軍から受けたのです。我々少年を敗戦国にもかかわらず、一般人として暖かく歓迎してくれたことです。女性の校長先生は日本の教育方針とは全くかけ離れた個人を平等に扱い、個性を尊重する教育をまのあたりにしたのです。一週間後、その歓迎に感謝をすべく岐阜の米軍キャンプ二〇〇名の司令官、連隊長に会いに行ったのが第二の転換期になりました。名鉄各務原線の運動場前で電車を降り、キャンプ岐阜の営門の前で忠告、躊躇している私に黒人の米軍伍長が、おい、君、何をしに来たのか?と問われ、勉強したばかりの英語で連隊長に会いに来た」と告げるとその伍長はびびり、連隊長は黒人であるその名前を言うのと二度びびり、十分もしないうちに白人の連隊長副官の大尉がジープで迎えに来てくれ、連帯本部で黒人の連隊長に会いました。その時大尉は僕にミスター・大野と呼びかけてくれました。これがきっかけで米軍で昼間働き夜はキャンプ岐阜から華陽高校に通学、又学校が終わる夜半に米軍キャンプに帰る毎日を送ったのです。昼間の仕事で米兵の中にニューヨークの黒人街の高校の英語の先生が居り、その軍曹に岐阜県の英語の弁論大会のセリフと振付を教わり、弁論大会で優勝、英語の勉強に拍車がかかりました。

華陽高校二年の二学期だと記憶しておりますが、試験期に当たった中で英語の時間に二十分遅れたときがありました。あと二分だぞと先生に言われ、試験の答案用紙は三分の二ほどしか解答できず、答案用紙提出の時に、「時間に遅れなければ答案用紙の問題は全部やれたのに!残念」と書き提出しました。一週間後、英語の担当教諭高橋先生が答案用紙を返してくれた時に「百点」と赤字で書いてありました。先生に尋ねたところ、まだお前たちに教えていないサブジャンクティヴ・ムード(仮想法)で完全に意味が通る文章が書いてあったので百点をあげたのだと、大学進学を意図した時に、同級生の松島巖が保安大学(現防衛大学校)に進むことを聞き、小生も入試を志望した時に、担任の飯沼先生に言われたことが今でも耳の底に残っています。二度一九五〇年(昭和二十五年)に朝鮮戦争のさなか、飯沼先生いわく「お前は今まで戦火をくぐり抜け生きてきたのに、また戦争に自分を投入するのか」と。この言があつてから平和に生きる決意ができて、世界平和のために平和産業、言葉の壁で出来る矛盾と誤解を解くための助けとなる通訳業に今現在も専心しています。英語の文化は、シエクスピアーから近代化され、今や世界では英語が共通語になりつつあります。東南アジア、中国、韓国でも日本人より英語を話せる人が数十倍増えています。英語教育も他国に負けないよう、皆さんの頑張りが必要な時代になってきています。人生の開発はその人本人にあることをシャイカカのウサイン・ボルトの英国人コーチが言い、結果、ボルトは短距離ランナーとしてオリンピックで前代未聞の記録を達成しました。それは基礎が勉強が出来ていない人にもわかる簡単な英語を使い、深い人生の目的に邁進できるように、個人の人生のストーリーを表示しています。IT IS TO BE IT IS UP TO ME! (もし将来を自ずするならばそれは自分自身にある)と、日本的に言うならば自分自身の人生の構成は自分自身で目標を決め自分を叱咤し、自分自身の心根と新発力により達成することとが何よりも必須である、と小生は思います。八十三歳の今、現在でも認知症、痴呆症等にならず、未だ頭腦的な仕事出来るのは幼少のころから自分をいさめ、目標を大きく持ち、好奇心の塊で人生を活性化し年をとっても野心とその目標を捨てなかつたことにあると思えます。小生より若き諸君にはまだまだ広い世界が待

ち受けています。在校生、卒業生の諸君、華陽フロンティア(最先端)高等学校の名前に恥じない青年に自分自身を育て上げてください。是非、世界平和のために頑張ってくださいと思います。

岩手釜石より

伏見 七夫 (昭和49年度卒)

童子あらわる

二月の寒空の下、駐車場まで十分間歩くのは辛い。遅くなった日はイオンで酒の肴と弁当を買って足早に住宅へと車を走らせる。今朝鍵を掛けて出勤したのに、部屋に明かりがついている。「えっ、誰かいるのかな」鍵穴がなかなか定まらない。部屋に入ると、おまけにテレビがアメリカファーストを伝えている。これは座敷童子ならぬ仮設童子が出たに違いない。テレビを見ていたんだね、おいおい隠れてないで出てきておくれよ、いじめたりしないよ。

そんな出来事をFBに投稿すると、郡山市の大学時代の友人が見事に答えてくれた。東北では、六十歳を過ぎると二度童子、更に歳を重ねると三度童子と言うらしい。お見事、吾輩はどうも二度童子らしい。

派遣

平成二十八年三月、三十七年間奉職した高山市役所を定年退職、同市役所再任用で岐阜市長会を通じ同年四月より、釜石市役所農林課へ災害復興支援の派遣をいただいています。現在、震災復興仮設住宅に単身で暮らしながら市役所で勤務しています。

間もなく東日本大震災から六年が経過しようとしています。死者、行方不明者含め二万人を超える未曾有の災害は、年数の経過とともに報道も減り国民の関心も薄れているところですが、現地では今が復興の正念場を迎えているところです。津波により壊滅的な被害を受けた沿岸部の町では、土地の高上げが進んできたところですが、子育て世代では避難先での生活が定着したところ、高齢世帯では住宅再建の目途がつかないなどの状況となっています。アンケート調査では、六割の人が答え

を出せない地域もあるようで、六年という時間経過を感じるところです。

世界三大漁場のひとつである三陸の海は、黒潮と親潮がぶつかり豊かな漁獲をもたらしていただろう、また山が海まで迫るリアス式海岸は、森のミネラルが海に流れ込み植物プランクトンを育んだに違いない、さらに青松白砂の風光明媚な地形は多くの観光客を感嘆させただろう。しかしその三陸の海は、10m〜20mを越す津波となって港や市街地を襲い、故郷の風景を二変させてしまったのです。

11月の復興

釜石市は、岩手県内で盛岡市に次いで二番目に市制を施行した街、製鉄業が隆盛を極めていた時代には人も経済も大いに賑わった。九万七千人に膨らんだ人口は、溶鉱炉の火が消えた頃から右肩下がり、そして二〇二二年の震災により街も人々の心も壊滅的な被害を受けた(現在の人口:三万五千余人)家族や友人、知人を亡くし、食うや食わず、泥だらけで何日も過ごさなければならぬ状況が続く、励ましあい助け合いながら瓦礫の中から立ち上がった東北の人々の粘り

強さを感じる。本当に強い。

釜石市は今年(平成二十九年)市制施行八十周年を迎える。街の姿は、まだまだ復興半ばだけど、先人から受け継いだ鉄のように強く、溶鉱炉のように熱い魂で未来に向かって新たな街を作っていく。そんな取組のお手伝いをしたいと願っている。

二〇一九年はラグビーワールドカップが釜石でも開催される、そして二〇二〇年は東京オリンピックである。東北の豊かな食材と優しさで多くの観光客を迎え入れよう、岩手県はインバウンドの取組がまだまだ遅れているけれど、このチャンスを活かし街に賑わいを取り戻そう。

参考:平成二十七年岩手県外人観光客数三二、四九一人

平成二十八年高山市外人観光客数四十二万人 市連報徳

語っておかねばならないこと

華陽高校時代の話、友人に誘われて広瀬隆氏の講演を聞いた。昭和四十年代後半である。原子力発電の危うさを当時既に「マルチダウン」の言葉を使って話されていた、使用済み核燃料も安全に処理する技術が確立されていないのに、未来の子

どもたちに託しているのか、答えはノーである。大

学生生活、就職と頭の片隅には記憶されていたが、そのエネルギーが生み出す物の豊かさを謳歌してきた。やはり想定外の事故が起きたのである、安全神話などなかったのである、「マルチダウン」なのである。それでも原発を止めようとしないうこの国とはいつたい、自分の住んでいる場所が汚染されないと気が付かないものなのか。今回、岐阜県は北アルプスが壁となって守ってくれたが、近隣県でマルチダウンが起これば、清流の国岐阜県もインバウンドで賑わう高山市も、福島県と東北地域等が避難生活と風評被害で苦しんでいるように、一瞬にして街を失いかねません。原発を止めてからエネルギーと生活を考えましょう。それが未来の子どもたちに果たす責務なのでは。



ハイ 岩手!

人生は面白い、二度童子から三度童子へ、そして元気なセンタリアンを目指して、今日も笑顔で駆けずり回ります。皆さんも一緒に「ハイ岩手!」ハイ岩手!とは..写真撮影時に、笑顔で手を広げるポーズのこと。

二〇一七年二月 春が待ち遠しい釜石にて

「思い出ばかり」

定時制夜間 保健体育科 田中輝夫



新任の昭和四十六年から五年間、お世話になりました。教員三年目で、一年生の担任になり、大変緊張して「週間位寝られなかったことを思い出しました。三年生まで担任をさせていただきました。卒業式を一緒に思っていましたので寂しくもありました。四年生は、理科の小川先生が担任だったと思います。それでは、点呼を取ります。

市原富士子、今井君江、大賀晴美、大西春子、岡田重子、奥田みさえ、加藤春美、加藤美也子、金森幸子、亀山昌子、河合明美、佐藤修子、佐藤谷子、渡藤美波留、宝友子、丹波憲子、長尾みつ子、中島加寿代、中村つや子、中村弘子、長屋あさ子、西恵子、野畑まり子、藤原まゆみ、古田みつほ、真鍋美鈴、摩ん水知子、水野美千代、安江悦子、安江利江 以上

C組の皆さん、お元気でしょうか?

体育の授業、体育大会、国体壮行会、予備会、ソフトボール部の試合、会社訪問、給食の時間、丹波の転入、修学旅行々々。記憶の底から思い出が浮かび上がってきます。是非六日の同窓会総会で、四十五年前に戻り大いに語り合いたいと思います。

恩師のことば

今年度の当番幹事にゆかりのある先生方からメッセージが届いています。



「毎日の時間を大切に」

定時制課程 教科科 伊藤 唯

皆さん、お元気ですか、華陽フロンティア高校では四年間お世話になり、ありがとうございました。私は今、大垣西高校に勤務し、数ヶ月間まで華陽フロンティア高校に勤務していたのが信じられないくらいガラリと変わった生活を送っています。まだ勤務して二月ほどしか経っていませんが、慣れたこともあれば、慣れないこともたくさんあります。皆さんも卒業して、環境が変わり、戸惑っていることが多いのではないのでしょうか。

高校に勤めて常に考えるのは、時間は無限ではないということです。高校生を見てみると、自分は高校のときに有効的に時間を使っていたらどうか振り返ることが多いです。高校生のときは、勉強やら部活やらで、「宿題のない大人はいいなあ」なんて、時間がとれない言い訳をずっと考えていました。ところが、いざ働いてみると、結局仕事やら家事やらで、時間がないという状況は大して変わっていません。そこで思ったのが、時間がある・ないではなく、同じ時間をどのように使うかが重要だということです。華陽フロンティア高校で自由に使える時間の多かった皆さんは、環境が変わった今、どのように過ごされているのでしょうか。どうか充実した日々を過ごしてください。そして、どこかで会った際には、今はこんなことに取り組んでいるよと教えてくださいね。それでは、また会う日まで。



「特別な思いを抱いて」

渡邊友也 教科科 伊藤 唯

皆さん、お元気ですか、私は今年度も三年次の担任を務めています。平成二十六年に通信制赴任し、初めて担任をもちました。皆さん、初めての通信制、教員としての初めての担任。右も左も分からず苦学した当時の様子が思い出されます。また、三年次の担任として初めて送り出した卒業生が皆さんでした。それだけにこの学年には特別な思いを抱いています。一年次から、三年間皆さんと共に過ごすなかで、皆さんの成長を皆さんの番近所で感じることができたことを嬉しく思います。私は教える立場でありながら、皆さんから教えられることの方が多かった日々。本当に感謝しています。

私は皆さんとのスクリーニングのなかで、自分過去の生き様を余すことなく語り尽くしてきました。したがって、皆さんに語る内容が今となればほとんどありません。しかしせわしなくの機会です。振り返り、悔しくて悔しいな華は咲いていきます。私は教員になるまでに約十年を費やしました。苦節十年、悔しくて悔しいな華は咲いていきます。皆さん、ぜひ遠回りをしてきたものと感じますが、この十年があったから、華陽フロンティアの「今」があるのだと思います。

たとえ回り道したとしても、意味のないこと何つありません。そこで経験するすべてが皆さんの血となり、肉となり、皆さんの人間性をかためた「これから」を形づくっていくのではないのでしょうか。一度きりしかない人生です。ひた向きに、どんなに生きてください。また会いましょう。

「情愛」

定時制課程 地歴・公民科
外山 剛



高校生の頃、担任から言われた私の良いところは「誰とでも仲良くできる」こと。自分でもそう思っていた。ところが、華フロでのスタートではこんな光景が。「えーっ〇〇ちゃんが良かったのよ」「なんで〇〇先生じゃないの(怒)」「なんで嫌われるのは、まあ想定内。ところが、何もしてないのにいきなり嫌われる」といって

「距離を取られる」「おれへん当たられぬ...」「おれはいいものか...」。悔しい気持ちを抑えつつ、自分らしく接するうちに、それが次第に変わってきた。二年目の四月、OB担任として意気揚々とスタートしたはずが、やはり一年前と同じ様なことが。

二年目の四月、OB担任となった時は、違った。やはり華フロの教員として認められた？そんな印象。生徒の皆さんにとっては、前年度の担任の先生との関わりがそれだけ深く、厚い信頼関係があったのでしよう。皆さんはそれだけ「情が深く、素直で心根の優しい」人たちがただただ、生徒の皆さんから信頼され、愛される先生になれたのでしょしょか？

「喜怒哀楽」
全てを経験した華フロでの五年間でしたが、信頼できる仲間(同志)である先生方やムカツクともいはい言いつけて、私の言いつことに心から答えてくれた教員の皆さんと出会い、過ごした日々が私にとって大切な宝物です。また皆さんと再会し、華フロの思い出を話れる日が来ることを楽しみにしています。

早いもので、華陽フロンティア高校に勤務して十年間がたち最後の勤務校となりました。

三十八年前、新採として華陽高校に勤務をし、最初の仕事は岐阜高校から華陽高校独立校舎への引越でした。当時は岐阜高校南側の理科棟跡に建てられ、校舎一階には食堂があり、東側の三階四階部分が吹き抜けで体育館となるなど斬新的な校舎だったと記憶しております。二階の定時制の職員室の隣は印刷室でその隣には通信制の職員室がありました。その後、三年間勤務をして、現在の華陽フロンティア高校の校舎の前身である岐阜女子高校に七年間勤務をしました。教員生活の中でも華陽フロンティア高校としては十三年間、現在の校舎には十七年間と長期にわたってお世話になることとなりました。私の内なる目標の中に四年生の担任で始まり、四年生の担任で終わることを考えていました。教員一年目に初

華フロでの10年間

定時制課程 数学科 花林尚英



めて四年A組の担任として生徒と接し、現在四年G組の担任となり、なんとか目標を達成できそうです。なんとか目標を達成できそうです。正担任が四年生で始まり、四年生で終わるという教員はなかなかないかと思えます。

最後に三十八年間の教員生活の中で、この先生なら、この生徒なら、できる限り自分の力を出し助けようと思つた人に数多く出会うことができました。教員にとって大変に幸せなことです。皆さんも、他人から思われ、他人に愛される人間になれるよう頑張ってください。

新しい時代へ

皆さんお元気ですか。私は本校での勤務が、今年で定通合わせ十年目となりました。思い起こせば楽しい思い出ばかり。感謝の言葉しかありません。



定時制課程 商業科
平松 均

卒業されてからは、お会いする機会に限られますが、時折「みんなどうしているかな。きつと元気に過ごしているに違いない」と思う事になっています。昔の寺子屋のお師匠さんじゃないんだから、と、笑われますが、これも、教員の大切な仕事のひとつと思っております。

さて、近年は新技術により生活が変り、働き方も大きく変化すると言われています。特徴は、少人数で難度の高い作業が短時間、かつ、安価でできるようになるといふものです。一人で会社を立ち上げる時代になるとか、八十歳代も現役労働世代になると伝えられます。しかし、適性や健康状態に応じた格差社会になるかもしれないと心配します。

(5)

卒業生のみなさん、お元気ですか。私は通信制に平成二十四年度から二十七年まで四年間お世話になりました。その間、四年間三年次担任として、また理科の教科担任としてみなさんに関わらせていただきました。

三年生の担任として、始業式の日にクラスのみなさんに伝えたことは、「自分の力で卒業の資格を手に入れてください」ということでした。入学当初は、通信制特有のシステムに苦労したことと思います。卒業式で卒業していく皆さんを見てると、自分の力で卒業の資格を手に入れる自信に満ちた姿で、その成長ぶりに毎年感じしていました。

「主体的」

通信制課程 理科
日比 学



「主体的に学習に取り組み態度」があります。「主体的」という言葉を聞いて、通信制の学習システムはまさに「主体的」ではないかと感じています。卒業生のみなさんはスクーリングにおける時間割の管理、レポートの期限や合格に関する管理、スクーリングがないときの自己管理、そして、最終的には自分の力で卒業したこと、まさに「主体的」に取り組み力が自然に身に付いているはずだと思います。

どうか自信をもって、「主体的」に自分の道を開拓(フロンティア)してください。また何年後かにさらに成長したみなさんと出会うことを楽しみにしています。



卒業生の皆さん、お元気ですか？
私が華陽フロンティア高校に転任して来たのは今から十一年前のことになりました。定時制で二年間お世話になります。最初の年度に担任した生徒さんばかりで十代後半になっていきますね。田んぼが多かった学校周りを少し様変わりしましたが、学び舎には今も変わらぬ生徒さんの元気な声が響き、四季折々の花が彩るこの学校に来てから「学び」とは何がずいぶん考え取られてきました。還暦を過ぎて「青春の忘れ物を取りに来た」と入学して見た方、「一生懸命生きていく」といふことを子供に背中で見せたいと奮闘して

フロンティア・ママ・プロジェクト

通信制課程 英語科
今井香菜子

みえた子育て中のママ、平日正社員として働き、クタクタになりながらも夜眠たい目をさすりながらサポートを仕上げ、日曜日に登校してくれただけ、病室や家庭の事情で苦しい思いをしても授業出席やレポート提出期限を絶対に妥協しなかつた生徒さんや、倍努力される姿、挑戦し続ける姿は崇高であり、本当に素晴らしい。また、その姿から私もかかあじうように思っています。また、その姿から私もかかあじうように思っています。また、その姿から私もかかあじうように思っています。

「主体的」に学習に取り組み態度があります。「主体的」という言葉を聞いて、通信制の学習システムはまさに「主体的」ではないかと感じています。卒業生のみなさんはスクーリングにおける時間割の管理、レポートの期限や合格に関する管理、スクーリングがないときの自己管理、そして、最終的には自分の力で卒業したこと、まさに「主体的」に取り組み力が自然に身に付いているはずだと思います。

成長と変化

平成27年度卒 定時制課程

品平 もえ

早いもので、私が華陽フロンティア高校を卒業して二年が経ち、時が経つのは早いものだなと感じます。

私にとって華陽フロンティア高校は、人生を変えてくれる場所です。

高校に入るまでの私は、内気で消極的な性格で何に対してもすぐ諦める傾向がありました。

それに学校に対して良いイメージを持っていませんでした。勉強も得意な方ではなかったですし、

対人関係などで悩んでいた事もあり、そこまで期待していませんでした。高校に入ったら変わ

れるのだろうかとても心配でした。入った当初は、不安な気持ち

同時に期待の気持ちでいっぱいでした。あと、勉強もちゃんとついて

いけるか心配でした。ですが、イメージとは裏腹に優しくて思いやりのある人

達ばかりで、先生方も生徒思いな方ばかりです。勉強も基礎から教えてくださり、そこから自分

も自信が付き、だんだん積極性も出てきて初めて学校が楽しいと思えました。それに前に比べて笑顔になる回数が増えたかなと思います。

きっとこの学校に出会えなかったら、今の自分にはなれていなかったでしょう。私を変えてくれるカケを作ってくれてありがとう。これからも前向きな気持ちで頑張っていきます。



人は変われる

平成27年度卒 通信制課程

中澤 紗哉人

私は中学生の頃は不登校気味で、学校に通い度くらしが顔を出さず、勉強も友達よりも遅れていました。当時はそんな自分自身に劣等感を抱いていて、進学についてもあまり深く考え

ておらず、華フロに入ったのも周りに勧められたからというのが大きかったです。

入学した当初は、自分が勉強や学校生活をちゃんと送っている自信がなく、不安しかありませんでした。

しかし、学校生活が始まってすぐにそんな感情は消えました。というのも、先生は優しい方ばかりで、勉強で分からないところがあるとい

ポートやメールで丁寧に教えてくれました。そのおかげでだんだん勉強もできるようになって

自信がついたのです。それに、すぐに新しい友達もできて学校生活も楽しくなりました。親が

「前よりも明るくなってくれて嬉しい」と喜んでくれていたのを覚えています。その後もふれあ

い研修や文化祭などの行事を通して様々な人と関わり経験を積むことができ、卒業するころに

は、後ろ向きだった性格もすっかり前向きになっていて、華フロに来てよかったと心の底から思

えていました。

現在、私は自らの意志で大学に進学し新たな友達と切磋琢磨しています。昔の私からはとて

も考えられない現実です(笑)。そんな自分に変わったのも、華フロで出会えた人たちのおかげ

です。そんな三年間を共に過ごした先生方や友達に本当に感謝しています。

当番幹事のあの頃

私の三年間

平成28年度卒 定時制課程

吉本 優也

私にとっての高校生活三年間は多くの事を学ばせてくれたとても充実したものでした。

入学した当初は「三年間適当に過ごして卒業できればいい」と考えていました。

しかし、そんな私の考えを二掃し「学校への恩返しをしたい」という新しい考えをくれた恩

人とも呼べる友達との出会いが、私を変えてくれたのだと思います。

仲良くなり始めた頃は「ただの友達 だったのですが、彼は僕にとって大きな決断の時、常に足りない一歩を踏みだすために、背中を押し

ありがとうございました。

てくれたのです。特に生徒会長へ立候補する時には、多くの先生方や友達に背中を押されま

したが彼の「君なら大丈夫だよ」という言葉には本当に助けられ、また、生徒会長に信任されて

から卒業するまでの一年間の心の支えにもなりました。

もちろん彼以外にも多くの友人がいくつもの場面で私を助けてくれました。

彼らには感謝してもしきれません。最後になりましたが入学してから卒業するまでの三年間お世話になった先生方、大好きな友達、私の事を「先輩」と呼んでくれた後輩達へこの場を借りて感謝を伝えます。

充実した三年間を、華陽フロンティアに入学して無事卒業できてよかったと思えた三年間を、ありがとうございました。

たくさんのお会い

平成28年度卒 通信制課程

渡邊 克弘

私にとって華陽フロンティア高校での二年間は、あつという間のものでした。

私は、二年次に編入をしました。初めは、友達が出来たのか、学校生活はしっかりと送れるのかが心配でした。しかし、そんな心配をもの

ともせずすぐに友人が出来、先生方の支えもあり、より良い学校生活を送ることが出来ました。

三年次では、生徒会副会長をさせて頂きました。各行事前には生徒会室に集まり、顧問の先生

生徒会執行部の仲間と話したことは、良い思い出です。

また、校歌の伴奏もさせて頂きました。それまで伴奏をされていた先生から楽譜を預かり伴奏させて頂いたことは、私の財産です。

現在私は、東海学院大学で、質の高い講義サークル活動、学生会、アルバイト等、充実した生活を送っています。これは、華陽フロンティア

高校での生活、先生方のご指導のおかげと感謝しております。

将来は、急性期の医療に携わり、工学の分野から一人一人の生命を繋ぎたいと思います。

同窓生の輝かしいご活躍

横山稔先生(元華陽高等学校校長) 瑞宝小綬章を受賞

昭和58年から2年間、華陽高校にて教頭としてご勤務され、昭和62年から2年間は学校長として勤務されました。長年にわたる学校教育に対する功績に対して、平成28年7月1日に瑞宝小綬章を華陽フロンティア高校校長室にて山田校長先生より授与されました。心よりお祝い申し上げます。



同窓会トピックス!

同窓会を蛍雪で報告しませんか? 同窓会事務局までご連絡ください。

岐阜華陽会

加藤 正幸

昭和56年に“長森華陽同窓会”として発足した本会も岐阜東部華陽会から「岐阜華陽会」と名を改めながら設立36年を迎えています。



春のお中日を定例日として平成29年も3月20日に割烹さわだにおいて山田英貴母校校長、廣瀬富久夫本部同窓会長に出席いただいてなごやかに開催しました。

道路改良等の陳情もあって特別来賓に松岡県議や須田岐阜市議、川島各務原市議のご臨席もあって記念写真。山田校長から本年も250名の新生を迎え入れ大きくはばたい近況報告を受け、廣瀬同窓会長からは90周年に向けての課題をかかえながら本年は本部同窓会の開催年であるので、ぜひ8月の同窓会には参加下さいと呼びかけての挨拶のあと全員が自己紹介。お酒を酌み交わしての歓談に花を咲かせ、時間の経つのを忘れるほどの盛会。来年も元気に再開できることを願って散会しました。

昭和32年卒 わが同窓学年会の自慢

働きつつ4年間夜学した仲間、3クラス102名の昭和32年度卒業生です。

ことは、他に少し例をみない同窓の絆をこんな風にずっと深め続けられているということ。その1、卒業後30年を一つの区切りとして第1回の学年同窓会を開いた以後3、4年ごとの開催を続け、平成28年10月に第8回目の同窓会をもった。その2、平成6年5月から同窓有志によるバス旅行がスタートし、その名も“華陽友の会グルメツアー”と銘打って各地のグルメと温泉、観光地へ出かける日帰りバス旅行で、実に23年間続行中。今年はおんな城主直虎の里、浜松へ。20名が参加、見晴しのいい国民宿舎で“直虎御膳”に舌鼓しての楽しい一日を過ごしたことでした。もうひとつが、ここ十年前から年3回ほど「ランチ会」を開いている。一寸気のきいた食事処で昼食し、あるときは博物館あるいは催しもの見学、カラオケもプランに入れてのだんらん。男女世話人の電話1本で毎回10数人の参加がまともからスゴイ。次回は大垣ランチ会が計画されています。

ともあれ、いろんな事情で出たくても参加できない同窓に思いを寄せつつ、高齢者の類に仲間入りした今、沢山のそんな出会いがあるのは結構いい、幸せなことと学び舎を共にした尊いご縁に感謝する今日このころです。



同窓会だより

華陽高校東京同窓会
会長 堀 啓二

華陽高校東京同窓会は、平成28年10月15日(土)午後1時から港区芝公園「メルパルク東京」で開催しました。来賓として、母校から山田英貴校長先生、廣瀬富久夫同窓会長、並びに特別会員の恩師小林勝利先生をお迎えし、会員5名とやや淋しく計8名でした。

堀会長の開会の辞、山田校長先生から母校のフロンティア精神を生かした学園生活の状況並びに廣瀬同窓会長から会としての物心両面に亘る支援の様子等紹介がありました。

次に、小林先生始め会員各位の近況報告など、酒食を共にしながら歓談、和気あいまいのうちにお開きとなり、来年の同窓会を10月14日(土)に設定し、校歌斉唱後、終了しました。



「ビバ! 同窓会 Final!!」

～事務局が昭和26年度卒業生 同窓会にお邪魔しました!～

前号の同窓会新聞に「華陽高校新聞を探しています」というお尋ね記事を掲載したところ、昭和26年度卒業生の真鍋裕貞様より「当時の新聞を寄贈します!」とご縁をいただくことができた。

また、同窓会「一緑会(通称:一升緑葉会)」が60年余の最終章を迎えられるとのことを聞き、平成28年4月15日ホテルグランヴェール岐山で開かれた「同窓会 Final」へお邪魔するお許しを得たのだ。幹事の高橋様、坪内様をはじめ、出席者は遠く東京、千葉という関東圏より、総勢14名の皆様方が揃われその勢いに圧倒された。皆さんとても元気!

なんと真鍋様は在学当時、華陽高校新聞部の一員としてご活躍され、恩師、鶴飼先生のご指導のもと、新聞製作に携わっていたのだ。予算もなく自分たちで集めた広告代で発行された新聞は、当時の夜中魂で埋め尽くされている。昭和27年3月20日発行の新聞に、幹事高橋さんの書かれた「卒業に際して語る私の人生」の記事がある。今ある「当たり前」に感謝せずにはいられない。

高校時代に印象に残っている先生のお話の中で、「先生方は怖かった。でも怖いだけではなく、社会人として働きながら勉強している自分たちを認めてくれた」という言葉に重みを感じ、「和顔愛語」と書かれた書を囲んで同朋を想い語らう場と時間を共有する大切に感動!

皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、華陽高校の歴史財産を残す責務を痛感した1日であった。



頑張っています！華ノ口生!!

(過去2年間)

<p>○定時制 【四年制大学】 愛知工科大学 愛知東邦大学 愛知みずほ大学 岐阜経済大学 岐阜聖徳学園大学 岐阜女子大学 静岡産業大学 星城大学 大同大学 中部学院大学 中部大学 東海学院大学 同朋大学 名古屋学院大学 名城大学 朝日大学 東海学園大学 名古屋文理大学</p>	<p>中部学院大学短期大学部 中日本自動車短期大学 名古屋文理大学短期大学部 平成医療短期大学 正眼短期大学</p> <p>【専門学校他】 大垣市医師会看護学校 可児医師会看護学校 岐阜市医師会看護学校 （公立）国際たくみアカデミー 春日台職業訓練校 HAL名古屋 NCS名古屋情報メディア専門学校 PROFESSIONAL DANCER'S ACADEMY BASE あいち造形デザイン専門学校 あいち福祉医療専門学校 イオンベトナムアカデミーサロントリマ養成所 大原法律公務員専門学校 岐阜調理専門学校 岐阜美容専門学校（通信） 専門学校名古屋ビジュアルアーツ 総合学園ヒューマンアカデミー 総合美容専門学校 ヘルフォートアカデミーオブビューティ 辻製菓専門学校</p>
<p>○通信制 【四年制大学】 名城大学 椋山女子園大学 中部大学 名古屋商科大学 名古屋芸術大学 岐阜聖徳学園大学 岐阜経済大学 岐阜女子大学 朝日大学 中部学院大学 東海学院大学</p>	<p>東京IT会計専門学校 名古屋校 トヨタ名古屋自動車大学校 トリアントコンピュータ専門学校 名古屋ウエディング&フラワー・ビューティー学院 名古屋工学院専門学校 名古屋こども専門学校 名古屋コミュニケーションアート専門学校 名古屋サイナー学院 名古屋動物専門学校 名古屋モード学園 名古屋リゾート&スポーツ専門学校 日本マンガ芸術学院 ビジョナリーアーツ ヒューマンアカデミーパフォーミングアーツカレッジ渋谷校 目白フットボール&アートカレッジ 総合美容専門学校 ヘルフォートアカデミーオブビューティ 東海工業専門学校金山校 名古屋スクールオブフューニージャック &ダンス専門学校 日本総合ビジネス専門学校</p>
<p>【短期大学】 岐阜聖徳学園短期大学部 大垣女子短期大学</p>	<p>【職業訓練校】 （国立）東海職業能力開発大学校 【専門学校】 岐阜市医師会看護学校 各務原市医師会看護学校 大垣市医師会看護学校 多治見市医師会看護学校 可茂看護学校 名古屋医専 大原法律公務員専門学校岐阜校</p>

平成28年度全国定時制通信制 体育大会 女子団体Aチーム準優勝 剣道部

全国大会優勝を目指して

僕が剣道を通して学んだ事は、忍耐力と継続力、そして仲間達との絆です。

剣道はとても激しい運動を繰り返す武道です。特に辛い稽古は掛かり稽古です。簡単にこの稽古を説明すると、元立ちと呼ばれる人が隙を与えて打ち込まれる役をし、掛かり手と呼ばれ、人が与えられた隙に全力で打ち込みを続ける稽古なのです。この稽古はひたすら打ち込むので息継ぎが出来ず、中盤からは自分が今何をやっているのかわからなくなってきました。しかしいくら稽古が辛くても剣道を辞めたいと考えた事はありません。やりきった達成感もありますし、何よりも稽古を繰り返す事で自分が段々と強くなっている事を実感しているからです。どんなに苦しくても継続する事で強い忍耐力と継続力を生み出しています。しかし、定時制の学校ですから、個々の理由から部活を休む人が多かったです。練習するには人数が足りないという問題がありました。僕はひたすら部活をする姿勢を貫き、少しずつ休みがちだった部員を引き戻しました。みんなが辛いこと、嫌なことを卒業して行うことで、部員の士気を高め、先輩含め数人しか活動していなかった剣道部が、県定通大会で男女団体優勝、さらには去年の全国大会で女子団体準優勝をしました。もちろん僕だけの力ではなく顧問の先生と仲間たちとの絆で成し遂げたものです。僕は、剣道を通して学んだことと、仲間との絆を大切に、今年の全国大会優勝を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。



平成28年度部活動の結果報告

●定時制

《男子バレーボール部》
県定通総体
優勝
4 A D 開原 秀明 3 A 吉本 優也
4 A 小倉 翔 3 A 河合 峻佑
2 B 岩崎 右城 1 H 与那嶺 レンスロウ

《女子バレーボール部》
県定通総体
優勝
4 A D 開原 秀明 3 A 吉本 優也
3 A 小倉 翔 3 A 河合 峻佑
2 B 岩崎 右城 1 H 与那嶺 レンスロウ

《女子バレーボール部》
県定通総体
優勝
3 B 小枝 紗加 3 D 村岡 詩帆
3 E 大野 結華 2 B 松野 なつ美
2 D 葛飼 知恵理 2 G 田宮 礼花

《ハンドボール部》
県定通総体
優勝
2 B 河村 瑞樹 3 D 品川 茉衣香
2 B 河村 瑞樹 2 B 品川 茉衣香
2 B 河村 瑞樹 2 B 品川 茉衣香

《軟式野球部》
県定通総体
優勝
3 E 澤井 勇徹 3 E 平田 郷寿
3 E 丹羽 翔紀 2 B 古田 隆佑
2 B 藤本 純巳 2 D 春山 拓望
1 B 佐野 俊輔 1 D 岩崎 翔哉
1 E 金子 直人 1 E 畑 佐和希

《サッカー部》
県定通総体
優勝
3 B 尾形 裕一 3 B 中村 圭汰
3 D 大坪 真 3 D 佐藤 啓太
3 D 藤崎 楓汰 3 D 山田 果歩
3 G 馬見新わたる 2 B 呉岡 大地

《卓球部》
県定通総体
優勝
2 A 岡田 混一 2 A 山田 創
2 A 花岡 日向葵 2 A 猪狩 雄策
2 B 谷山 有希 2 E 浅野 竜也
1 B 岡本 柗太 2 E 浅野 竜也

《剣道部》
県定通総体
優勝
3 A 浦野 真帆 優勝
3 A 浦野 真帆 優勝
3 A 浦野 真帆 優勝

《陸上競技部》
県定通総体
優勝
1 C 小澤 京 優勝
1 C 小澤 京 優勝
1 C 小澤 京 優勝

《バスケットボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バスケットボール競技大会出場

《ソフトテニス部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ソフトテニス競技大会出場

《バドミントン部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バドミントン大会出場

《バレーボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バレーボール大会出場

《ハンドボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ハンドボール大会出場

《軟式野球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会軟式野球大会出場

《サッカー部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会サッカー大会出場

《卓球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会卓球大会出場

《剣道部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会剣道大会出場

《バスケットボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バスケットボール大会出場

《ソフトテニス部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ソフトテニス大会出場

《バドミントン部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バドミントン大会出場

《バレーボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バレーボール大会出場

《ハンドボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ハンドボール大会出場

《軟式野球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会軟式野球大会出場

《サッカー部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会サッカー大会出場

《卓球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会卓球大会出場

《剣道部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会剣道大会出場

《バスケットボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バスケットボール大会出場

《ソフトテニス部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ソフトテニス大会出場

《バドミントン部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バドミントン大会出場

《バレーボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バレーボール大会出場

《ハンドボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ハンドボール大会出場

《軟式野球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会軟式野球大会出場

《サッカー部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会サッカー大会出場

《卓球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会卓球大会出場

《剣道部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会剣道大会出場

○通信制

《軟式野球部》
第63回 全国高等学校定時制通信制軟式野球愛知・三重・岐阜大会 (第3位)

《バスケットボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バスケットボール競技大会出場

《ソフトテニス部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ソフトテニス大会出場

《バドミントン部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バドミントン大会出場

《バレーボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バレーボール大会出場

《ハンドボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ハンドボール大会出場

《軟式野球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会軟式野球大会出場

《サッカー部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会サッカー大会出場

《バスケットボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バスケットボール大会出場

《ソフトテニス部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ソフトテニス大会出場

《バドミントン部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バドミントン大会出場

《バレーボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会バレーボール大会出場

《ハンドボール部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会ハンドボール大会出場

《軟式野球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会軟式野球大会出場

《サッカー部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会サッカー大会出場

《卓球部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会卓球大会出場

《剣道部》
平成28年度東海高等学校校定時制通信制体育大会剣道大会出場

探る！

岐阜第三中学・華陽高校時代の「学校新聞」等がお手元にある方！

事務局までご連絡下さい！

電話：〇五八(四三)六九〇

電話：〇四一(三四三)四一〇五

電話：〇七七(五七七)二五八〇

電話：〇七七(五七七)二五八〇

電話：〇七七(五七七)二五八〇

電話：〇七七(五七七)二五八〇

同窓会総会案内

左記の日程で同窓会総会云ならびに懇親会を開催いたします。今年度の当番幹事は昭和50年、51年、平成7年、8年、27年、28年卒業の定時制、通信制の方々を中心に準備が進んでいます。例年会場としていた岐阜会館より、ホテルグランヴェール岐山に会場が変わりました。万障お繰り合わせの上、お誘い合せてご出席下さいますようお願い申し上げます。同封の葉書を7月19日までにご投函ください。

平成29年7月
華陽フロンティア高等学校同窓会
会長 廣瀬 富久夫

一、日時 平成29年8月6日(日)
午前11時(受付10時半より)
ホテルグランヴェール岐山
(岐阜市柳ヶ瀬通六一四)

一、電話 (〇五八) 二六三三七二一
一、会費 男性 七、〇〇〇円
女性 六、〇〇〇円

※当日会場にてお支払い下さい。
※Pは地下駐車場、紅葉園パーキングをご利用ください。(フロントにて補助あり)



平成28年度岐阜県立華陽フロンティア高等学校同窓会決算書

科目	予算額			収入済額	比較増額	備考
	当初予算額(A)	補正額(B)	最終予算額(A)+(B)=(C)			
会費	924,000	0	924,000	848,691	△75,309	3,000円×248人 総会費5,510円×19人 =104,691円
入会金	516,000	0	516,000	496,000	△20,000	2,000円×248人
雑入	850	0	850	3,829	2,979	預金利息・他会計寄付
繰越金	1,405,150	0	1,405,150	1,405,150	0	
合計	2,846,000	0	2,846,000	2,753,670	△92,330	

平成29年度岐阜県立華陽フロンティア高等学校同窓会予算について(案)

科目	予算額(a)	前年度予算額(b)	比較増減(a)-(b)	摘要
会費	1,350,000	924,000	426,000	終身会費 3,000円×250人(定)162人(通)88人 総会費 600,000円 男性7,000円×60人 女性6,000円×30人
入会金	500,000	516,000	△16,000	終身会員 2,000円×250人
雑入	312	850	△538	預金利息
繰越金	1,995,688	1,405,150	590,538	
合計	3,846,000	2,846,000	1,000,000	

支出の部 (単位:円)

科目	予算額			支出済額	比較増額	備考
	当初予算額(A)	補正額(B)	最終予算額(A)+(B)=(C)			
総会費	400,000	△90,200	309,800	104,691	205,109	役員総会費
役員会費	100,000	0	100,000	29,372	70,628	役員会補助出代お茶代他
旅費	150,000	0	150,000	51,176	98,824	東京同窓会参加
印刷消耗品費	300,000	0	300,000	239,760	60,240	名簿管理・メンテナンス料
通信運搬費	30,000	60,000	90,000	82,035	7,965	各種資料案内送付等
入会歓迎会費	154,800	10,200	165,000	154,624	10,376	同窓会入会記念品代
部活動協力費	20,000	0	20,000	0	20,000	
褒賞費	50,000	0	50,000	28,324	21,676	同窓会表彰記念品代
厚生費	50,000	20,000	70,000	68,000	2,000	東京同窓会祝儀代・全国大会激励金他
予備費	1,591,200	0	1,591,200	0	1,591,200	
合計	2,846,000	0	2,846,000	754,982	2,088,018	

(予算執行に当たって各項目の流用を認める。)

(収入)	(支出)	翌年度へ繰り越し
2,753,670	757,982	1,995,688

支出の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	前年度予算額(b)	比較増減(a)-(b)	摘要
総会費	870,000	400,000	470,000	総会(食代(会費)・会場・設置費)
役員会費	50,000	100,000	△50,000	役員会お茶代等
旅費	100,000	150,000	△50,000	東京同窓会等出席旅費等
印刷消耗品費	1,050,000	300,000	750,000	同窓会新聞・名簿作成(メンテナンス)・総会関係他
通信運搬費	1,120,000	30,000	1,090,000	総会案内及び新聞郵送
入会歓迎会費	165,000	154,800	10,200	卒業記念品(650円×250人)
部活動協力費	20,000	20,000	0	
褒賞費	50,000	50,000	0	会長賞記念品(10人)
厚生費	70,000	50,000	20,000	祝儀等
予備費	351,000	1,591,200	△1,240,000	
合計	3,846,000	2,846,000	1,000,000	

(ただし、予算執行に当たっては、各項目の流用・積立基金より取り崩すことを認める。)

○特別会計 平成28年度岐阜県立華陽フロンティア高等学校同窓会基金会計

項目	種別	預入日	満期日	口座番号	28年度末残高金額
華陽フロンティア高校同窓会積立(十六)	定期預金	28.10.14	29.10.14	No.1229724	808,145
"	(十六)	29.3.29	30.3.29	"	538,958
"	(十六)	29.3.26	30.3.26	"	2,001,792
"	(岐阜信金)	29.3.26	30.3.26	No.2521325	1,000,897
"	(大共)	29.3.26	30.3.26	No.317962	1,000,897
"	(郵貯)	24.5.18	34.5.18	No.18227151	1,001,582
80周年感謝記念事業積立金(十六)	"	29.2.18	30.2.18	No.1317220	2,003,648
"	(十六)	29.2.18	30.2.18	"	2,003,648
"	(十六)	29.3.26	30.3.26	"	1,000,897
合計					11,360,464

27年度末残高(A)	収入(利息)(B)	支出(一般会計)(C)	28年度末残高(A)+(B)-(C)
11,357,688	2,776	0	11,360,464

○特別会計 平成29年度岐阜県立華陽フロンティア高等学校同窓会基金

28年度末残高(a)	収入(利息)(b)	支出(一般会計)(c)	29年度末残高見込み(a)+(b)-(c)
11,360,464	600	0	11,361,064

項目	種別	口座番号	29年度末残高見込み
華陽フロンティア高校同窓会積立(十六)	定期預金	No.1229724	808,145
"	(十六)	"	538,958
"	(十六)	"	2,001,792
"	(岐阜信金)	No.2521325	1,000,897
"	(大共)	No.317962	1,000,897
"	(郵貯)	No.18227151	1,001,582
80周年感謝記念事業積立金(十六)	"	No.1317220	2,003,648
"	(十六)	"	2,003,648
"	(十六)	"	1,000,897
収入(利息)			600
支出(一般会計)			0
合計(29年度末残高見込)			11,361,064